

---

# 国語課

---



# 令和3年度予算(案)概要

(単位：千円)

事項	前年度 予算額	令和3年度 予算額(案)	対前年度 比較増減額
文化審議会国語分科会	9,199	9,229	30
国語施策の充実	48,499	48,429	▲70
調査及び調査研究(国語に関する実態調査)	11,714	11,749	35
国語問題研究協議会の開催	4,204	4,370	166
危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究事業	32,581	32,310	▲271
生活者としての外国人に対する日本語教育の推進	954,867	989,933	35,066
外国人材の受入れ・共生のための地域日本語教育推進事業	496,969	500,261	3,292
「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業	146,714	151,813	5,099
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業	46,021	43,572	▲2,449
条約難民及び第三国定住難民に対する日本語教育	43,804	55,335	11,531
日本語教育の人材養成及び現職者研修カリキュラムの開発・活用事業	198,016	200,001	1,985
日本語教育に関する調査及び調査研究	16,873	31,722	14,849
日本語教育大会の開催	3,061	3,180	119
省庁連携日本語教育基盤整備事業	3,409	4,049	640
合計	1,012,565	1,047,591	35,026

## 審議会における検討

諮問  
課題等

### 文化審議会国語分科会

国語の改善及び  
その普及に関する事項を調査・審議



### 答申等

- H16年2月 これからの時代に求められる国語力について (答申)
- H19年2月 敬語の指針 (答申)
- H22年6月 改定常用漢字表 (答申)
- H24年1月 国語分科会で今後取り組むべき課題について (意見のまとめ)
- H25年2月 国語分科会で今後取り組むべき課題について (報告)
- H26年2月 「異字同訓」の漢字の使い分け例 (報告)
- H28年2月 常用漢字表の字体・字形に関する指針 (報告)
- H30年3月 分かり合うための言語コミュニケーション (報告)

## 具体的な事業の実施

### 調査及び調査研究

(国語に関する実態調査)  
(前年度予算額 12百万円)  
3年度予算額 (案) 12百万円

#### ○国語に関する世論調査

国民の国語に関する意識や具体的な言葉の理解等の現状を調査する「国語に関する世論調査」を実施し、文化審議会国語分科会における審議資料として活用するとともに、国民の国語に対する興味・関心を喚起する。



#### ○国語施策情報システムの更新事業

紙媒体でしか現存しない国語施策に関する資料の電子化を行い、文化庁ウェブサイトで資料の公開を進める。



### 国語問題研究協議会の開催

(前年度予算額 4百万円)  
3年度予算額 (案) 4百万円

国語をめぐる諸問題を取り上げ、文化審議会の答申等について説明するとともに改善の方策等について研究協議を行う「国語問題研究協議会」を開催する。



### 危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究事業

(前年度予算額 33百万円)  
3年度予算額 (案) 32百万円

#### ○危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究

保存・継承に必要な記録が欠けている地域の調査研究を行うとともに、これまで実施した危機的な状況にある言語・方言に関する調査研究の成果や取組事例等を広く国民に周知する機会を設ける一方、危機言語・方言を抱える地域関係者に保存・継承に当たっての取組等を促しつつ、効果的な保存・継承について研究者も交えて研究協議を行う場を設ける。

#### ○アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化事業

アイヌ語のアナログ資料のデジタル化、アーカイブ作成の支援を行うとともに、アイヌ語の翻字(文字起こし)・翻訳を行う技術を身に付けた人材の育成を行う。  
※民族共生象徴空間におけるアイヌ語体験プログラム(経費は企画調整課)については国語課で担当

#### ○被災地における方言の活性化支援

東日本大震災による被災や避難に伴い、消滅の危機にある方言の保存・継承のための教材作成やシンポジウムなど方言の再興につながり、メンタルケアなどコミュニティ再生にも資する、地域の取組を支援する。

## 現状

## データ

- 在留外国人数 (令和2年6月現在)  
平成2年約108万人→  
令和2年約288万人
- 日本語学習者数  
平成2年約6万人→  
令和元年約27万人
- 日本語教室が開催されていない自治体に居住している外国人数 約47万人 (令和元年現在)
- 法務省告示日本語教育機関数  
平成2年末384機関→令和元年度末792機関

日本語教育の推進に関する法律 (令和元年6月公布・施行)

日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針 (令和2年6月閣議決定)

「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」 (令和2年7月外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議改訂)

- ①日本語教育環境を強化するため地方公共団体の総合的な体制づくりを着実に推進
- ②日本語教育の推進に関する法律に基づく地方公共団体の基本的な方針の作成の促進
- ③日本語教室未設置の地域における日本語教室開設に向けた支援の強化

- ①日本語教育の参照枠や日本語能力の判定基準の検討・策定
- ②日本語教師の養成・研修プログラムの充実・普及の推進
- ③新たな資格である公認日本語教師(仮称)制度の整備

## (1) 日本語教育の全国展開・学習機会の確保

## (2) 日本語教育の質の向上等

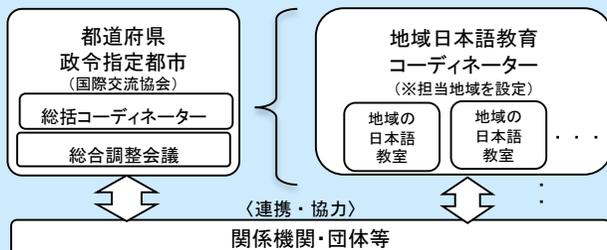
### ①外国人材の受入れ・共生のための地域日本語教育の推進

令和3年度予算額(案) 500百万円(前年度予算額 497百万円)

都道府県・政令指定都市が、関係機関等と有機的に連携しつつ行う、日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり、地域日本語教育の実施(市町村への支援を含む)を推進する。



(地域の日本語教室の例)



### ②日本語教室空白地域解消の推進強化

令和3年度予算額(案) 152百万円  
(前年度予算額 147百万円)

- 日本語教室空白地域となっている市町村に対してアドバイザーを派遣するとともに、日本語教室の開設・安定化に向けて支援する。
- インターネット等を活用した日本語学習教材 (ICT教材) の開発・提供する。

### ③日本語教育の先進的取組に対する支援等

令和3年度予算額(案) 99百万円  
(前年度予算額 90百万円)

- NPO法人や大学、公益法人等が行う、日本語教室の教育上の課題や、都道府県域を越えた広域的活動に伴う課題等を解決するための先進的取組への支援等を実施する。

### ①日本語教育の人材養成及び現職者研修カリキュラムの開発・活用

令和3年度予算額(案) 200百万円 (前年度予算額 198百万円)

- 文化審議会国語分科会が示した教育内容、モデルカリキュラムに基づき、大学や日本語教育機関等を活用して、日本語教師養成、現職者研修のカリキュラムの開発・実施・普及を行う。
    - ・日本語教師養成カリキュラム
    - ・現職者研修カリキュラム
- 日本語教師(初任)・・・生活者としての外国人、留学生、児童生徒等、就労者、難民等  
日本語教師(中堅)  
日本語教育コーディネーター・・・地域日本語教育コーディネーター・主任教員  
日本語学習支援者・・・いわゆるボランティア

### ②日本語教育に関する調査及び研究

令和3年度予算額(案) 32百万円(前年度予算額 17百万円)

外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策や日本語教育の推進に関する法律を踏まえ、日本語教育を推進するための課題に対応した調査研究を実施する。(日本語教育の参照枠、公認日本語教師(仮称)制度に関する調査研究等)

### ③日本語教育のための基盤的取組の充実

令和3年度予算額(案) 7百万円(前年度予算額 6百万円)

- 日本語教育に関するポータルサイト(NEWS)を運用する。
- 日本語教育に関する最新情報・先進事例等を共有する日本語教育大会等を開催する。



## 概要

日本語教室がない空白地域に暮らし、日本語学習機会がない外国人が独学で習得できる日本語学習コンテンツを開発・公開  
(委託: 凸版印刷株式会社)

## 内容

- ・生活場面の動画中心、字幕表示、文型や表現・語彙の確認、生活に必要な情報等
- ・活用方法等のセミナー開催

## 対応言語 全14言語を目標に追加予定

令和元年度: 6言語開発

(日本語, 英語, 中国語, ポルトガル語, スペイン語, ベトナム語)

令和2年度: 4言語追加

(インドネシア語, フィリピン語, ネパール語, カンボジア語)

令和3年度: 4言語追加(予定)

(韓国語, ミャンマー語, モンゴル語, タイ語)

## 使い方ガイドブック等の作成

活用促進のため、広報ツールを作成・公開

- ・使い方ガイドブック
- ・パンフレット
- ・広報用動画



このサイトでは、日本で生活する外国人の皆さんが、日本語でコミュニケーションをとったり、生活できるようになったりすることを目標として、日本語を学習することができます。自分に合った日本語のレベルや、学習したいシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを選択することができます。日本語を勉強し実際に使うことを通じて、社会とつながり、生活をひろげてみましょう

このサイトについて

## 見て学ぶ生活の場面

学習したいシチュエーションや、日本語の習得レベルに応じてコンテンツを選んで学習できます。



# 主なシーン

<p><b>レベル1</b></p>	<p><b>シーン1</b> あいさつをしよう</p> <p><b>シーン2</b> 身近なものを買ってみよう</p> <p><b>シーン3</b> レストランへ行ってみよう</p>	<p><b>シーン4</b> 宅配便を利用しよう</p> <p><b>シーン5</b> 電車に乗ってみよう</p> <p><b>シーン6</b> 道をきいてみよう</p>
<p><b>レベル2</b></p>	<p><b>シーン1</b> お店のサービスを利用してみよう</p> <p><b>シーン2</b> ハガキを送ってみよう</p> <p><b>シーン3</b> 自治会に入ってみよう</p> <p><b>シーン4</b> イベントに行ってみよう</p>	<p><b>シーン5</b> 病院に行こう</p> <p><b>シーン6</b> 緊急のときは、助けをもとめよう</p> <p><b>シーン7</b> 役所に行こう</p> <p><b>シーン8</b> 図書館に行ってみよう</p>
<p><b>レベル3</b></p>	<p><b>シーン1</b> 薬局を利用しよう</p> <p><b>シーン2</b> 防災について考えよう</p>	<p><b>シーン3</b> 引っ越し先を探そう</p> <p><b>シーン4</b> 引っ越しの準備をしよう</p>

## レベル1

### シーン2 身近なものを買ってみよう

スーパーマーケットで買い物をするとき使う日本語を学びましょう。商品の売り場を聞いたり成分について聞いたり、支払いをするときの表現を学ぶことができます。



2-1. OOはどこですか。 2-2. これ、おさがりはありますか。 2-3. OOえんになります。

### シーン5 電車に乗ってみよう

電車を利用するとき使う日本語を学びましょう。周囲の人に聞きながら、自分が行きたいところに行けるようになります。行き方や所要時間をたずねられるようになります。



5-1. なんばんせんですか。 5-2. OOまでいきたいです。 5-3. これ、チャージしたいです。

## レベル2

### シーン5 病院に行こう

病院やクリニックを利用するとき使う日本語を学びましょう。受付での必要な手続きや医師の診察、薬の処方を受けたりすることができるようになります。



5-1. かぜをひいたみたいです。 5-2. おふるにはいいみたいです。 5-3. こちらがしょほうせんになります。

## レベル3

### シーン2 防災について考えよう

地震や台風のとときに、身を守るために必要な日本語を学びましょう。災害の起こる前にどんな対策をとったらいいか、災害が起こったときにどんな風に行動したらいいか、情報交換することができるようになります。



2-1. これがひなんばしょのマークです。 2-2. さっきてんきよほうで 2-3. またおおいじしんがきたらたいへんです。

# 構成

**言語選択**

**テーマ・目標**  
それぞれのシーンにおけるテーマ・目標を提示します。

**キーワード**  
このページで学ぶことができるキーワードを提示します。

**動画**  
テーマに応じた動画を掲載しています。

**字幕**  
動画に合わせてセリフが表示されます。日本語、ローマ字、外国語から字幕を選ぶことができます。

**スクリプト**  
動画中の全セリフを一覧で見ることができます。

**このフレーズを覚えよう**  
動画中に出てきた重要なフレーズをピンポイントで学ぶことができます。

**このことばを覚えよう**  
動画中に出てきた重要な言葉とその意味を学ぶことができます。

**役に立つことば**  
それぞれのシーンで取り上げられた言葉に関連する、役に立つ言葉を一覧で見ることができます。

**役に立つ情報**  
動画に取り上げられた場面に関連した、知っておくといふ情報を得ることができます。